『消防設備士第5類 令和7年上巻』に関する お詫びと訂正のご案内

『消防設備士第5類 令和7年上巻』の記載内容に誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正いたしますので、お手持ちの本書の該当箇所に加筆訂正をお願いします。

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P309	誤	◎例えば、コンクリート設計基準強度が「18N/mm ² 以上」で金属拡張アンカーの呼び径が「M10」の場合、許容引抜荷重は「5.7kN」となる。さらに、「固定部に発生する応力」を18kN、金属拡張アンカーの本数を2本とすると、式は次のとおりとなる。	
更新:[2025.11.17]	正	 ◎例えば、コンクリート設計基準強度が「18N/mm²以上」で金属拡張アンカーの呼び径が「M10」の場合、許容引抜荷重は「5.7kN」となる。さらに、「固定部に発生する応力」を18kN、金属拡張アンカーの本数をN本とすると、式は次のとおりとなる。 	
P311	誤	T=0.24DN	T:締付トルク(kN/cm) D:ボルト径(cm) N:試験荷重(設計引抜荷重)(kN)
更新:[2025.11.17]	正	T=0.24DN	T:締付トルク(<mark>kN·cm</mark>) D:ボルト径(cm) N:試験荷重(設計引抜荷重)(kN)